

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区

2004-05 Governor's Information



公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

ガバナーメッセージ | ロータリー財団月間によせて | ガバナー公式訪問

2003～2004年度派遣学生帰国報告会 | 青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション

地区ロータリー財団セミナー | 職業奉仕委員長会議 | クラブ米山奨学委員長会議

クラブ奉仕委員会委員長会議 | 第1回クラブ新世代委員長会議 | 第1回社会奉仕クラブ委員長会議

第1回国際奉仕委員長会議 | 話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい(回想法)事業」』 | 話の泉⑥「カラス事始め」前編

今月のカレンダー | 文庫通信 | ハイライトよねやま 56号 | 出席報告(9月分 EXCEL形式)

→印刷用はこちらから

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2760地区ガバナー 大島 宏彦

「訪問先で」



「その時々で内容を変える訳にも行かないが、そうかといって20回近くも同じ話をするとは」と憂鬱だったガバナー訪問もこの原稿の締切り迄に、9割方は終わりました。会員の方々の目に触れる頃には、すべての会員への挨拶が済んでいる予定です。今でも全クラブをウタ回っている多くのガバナーの方はどんな話をされたかと、少々気になります。

暖かく迎えて頂いた各クラブ、特にホストを勤められたクラブの皆様には心からお礼申し上げます。長年の慣例となると、少し変えるにも苦労します。「初めてだから、まず親クラブがホストを」と買って出られた所もあれば「この際、一番若いクラブに経験を積ませて」と配慮された所もあって色々でしたが、迎える方の気遣いも大変だったと思います。

200キロもの遠くから、地区大会に出掛ける以上の手間を掛けて、多くの会員に集まってもらったケースもあります。一番困ったのは、200人を集める適当な会場が無い都市が結構あったことです。一宮では真清田神社(写真)をお借りしました。会場の変更や、予め参加人数を決めねばならなかったため、ビジターを断る例も多々ありました。

スピーチをする立場とは言え、あまり盛大に迎えられると調子が狂います。ガバナーを終わった後、つ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想\)事業」』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

ロータリー財団月間によせて

- ・地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 孝則
- ・地区ポリオプラス委員会 委員長 山内 登
- ・地区財団奨学委員会 委員長 石田 正城
- ・地区恒久基金委員会 委員長 渡辺 均
- ・地区財団学友委員会 委員長 藤田 守彦
- ・地区年次寄付委員会 委員長 岡本戡紘



ロータリー財団月間によせて

地区ロータリー財団委員会

委員長 鈴木 孝則

いつもロータリー財団へのご支援、ご協力誠にありがとうございます。先ずもって心から感謝申しあげます。

ご存知のように、本年度は、ロータリー創立100年の年であります。まずご理解いただきたいのは、「創立100周年は財団重視の年」であることです。

グレン・エステスRI会長の掲げる100周年の3大目標は、

- (1) ポリオ・プラスにおける前進
- (2) 会員増強
- (3) 財団支援

です。100周年の三つの最も大切な目標のうち、財団の活動が二つを占めて、財団重視を打ち出しております。ですから、まずご理解いただきたいのは、「今年度は、財団重視の年」ということであります。「財団支援」について、少しでも触れておきたいと思えます。

「財団支援とは、年次プログラム基金への寄付額でロータリアン一人当たり米価100ドルに達すること」であります。

これは本年度当地区ロータリー財団委員会事業計画スローガンの最重要課題でもあります。今後色々の機会に、「毎年あなたも100ドルを(Every Rotarian, Every Year)」という目標を耳にすることになります。「Every Rotarian, Every Year」(EREY)の日本語訳がどうして「毎年あなたも100ドルを」になるのかについての説明をしておきます。100ドルの目標は、2001年の規定審議会での決議であり、EREYは、2003年4月の財団管理委員会の決定であります。ですから、二つの目標の生まれ育ちが異なります。しかし、出所は違っても財団の資金を強化するという目的においては一つのものでありますので、日本においては、「Every Rotarian, Every Year」の訳文を「毎年あなたも100ドルを」ということで、統一したスロ

ーガンとしております。しかし、忘れてはならないのは、「あくまでも寄付」ということであります。決して強制であってはなりません。訳も分からない入会したてのロータリアンに「寄付、寄付」と半強制的に迫ったり、使い道もよく理解していただかないで寄付依頼をするのでは、会員減少の原因になったりして、決して実りある財団活動はできません。

次に、本年度からとりあげられた「地区ロータリー財団チーム」について述べます。
今後、地区そして各クラブにおいてこの概念をもって活動して欲しい大変大切な事業推進チームであります。

「地区ロータリー財団チーム」とは、

- (1) クラブ会長
- (2) 地区ロータリー財団小委員会委員長及び委員
- (3) 地区財団委員長
- (4) ガバナー補佐
- (5) 地区研修リーダー
- (6) ロータリー財団地域コーディネーター

によって構成されます。そして、それぞれの任務は、

- ① 地区ロータリー財団小委員会は特定のプログラムを管理運営する。
- ② クラブ会長は年次目標を設定しそれを達成させる。
- ③ ガバナー補佐はクラブの目標達成度について確認する。
- ④ ガバナーは担当地区会員の財団寄付に対する動機付けに全力を傾注する。

ということであり、従来より広範なチームとして理解できます。構成者は、それぞれ財団の事業推進について責任を分担しつつ、全体としてその運営を共有し、財団の成果をあげていこうという狙いがあります。

私は、今ご説明しましたように、本年度当地区重要目標の中で、

- (1) 「毎年あなたも100ドルを」という具体的、数字に基づく目標と
- (2) 「地区ロータリー財団チーム」という考え方の徹底を特に強調したいと思います。

更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

[▲上へ戻る](#)



ロータリー財団月間によせて — ロータリー財団 教育的プログラム「国際親善奨学金」—

地区財団奨学委員会

委員長 石田 正城

ロータリー財団国際親善奨学金は民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。目的は他国の教育機関で勉強させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与するという「国際親善」使節の育成です。

毎年全世界で1000～1300名ぐらいの奨学生がロータリークラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、受入れ国の人々に対する優れた民間大使として活躍してくれています。

財団の国際親善奨学金として当地区は次のような募集を行っています。

- ① 1年間の奨学生・・・支給額は米貨25,000ドルです。

- ②マルチイヤー2年間の奨学生・・・学位取得を目的、支給額は1年につき12,500です。
- ③文化研修の奨学生・・・3ヶ月間の語学強化研修と相手国の文化に溶けこむことを目的としています。
- ④世界平和奨学生・・・国際関係を研究する2年間の奨学生です。当地区で推薦しますがRIで選考されます(世界で70名)

詳しくは地区財団ホームページをご利用下さい。

<http://www.rotary2760.org>

▲上へ戻る



ロータリー財団月間によせて ―「財団学友会」の現状と期待―

地区財団学友委員会

委員長 藤田 守彦

2760地区のロータリアンの皆様には「財団学友会」に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

11月は「財団月間」という事で、改めて学友会について御紹介をさせて頂きたいと思います。

御承知の様に財団には6つのプログラムがあります。学友会もその中の一つであり、余り目立ちませんが重要な任務を果たしております。

学友会は、ロータリー財団奨学生(国際親善奨学生)として外国で学問を終了した学生と、これも財団プログラムですが研究グループ交換(GSE)を終了したチームメンバー、ロータリー平和奨学生、大学教員の為のロータリー補助金受領者で構成されています。

特に奨学生は選考合格が決まった時点で自動入会となり終身学友会員となります。2004年11月現在、当地区には334名、日本には8,350名の学友が活躍しています。

元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家の牧野高吉さん、指揮者の松尾葉子さん最近では宇宙飛行士になる角野直子さんも学友会の一員です。

それでは私共、学友委員会の仕事を御紹介します。まず次の様な行事を主催します。7月には奨学生の為の「ガイダンス」をします。この行事は奨学生に決定された諸君に対して今後どの様な方法で留学先を決定してゆくのか、またロータリークラブの概要、考え方などを指導します。2月には奨学生の為の「オリエンテーション」を行ないます。この行事は、ほぼ決まった留学先への最終確認の仕方、現地での注意事項などを指導します。5月には財団学友会「総会」をかねて留学先の決まった奨学生への「壮行会」を行ないます。

また、各行事の間には奨学生からの個別の相談にも応じています。

これらの行事はすべて、学友委員会と学友会代表幹事、幹事、会員が一緒になり行います。その他ロータリー財団学友の正確で最新の情報を維持する為の資料も作成管理しています。この資料は地区や各ロータリークラブの活動に学友の参加を推進する為の基盤となります。

また、メーリングリストを作成し、新しい奨学生の登録を行い先輩学友への質問、回答など留学までのアドバイスなどがメールで交換出来る様にしています。

次に学友への期待ですが、学友の場合それぞれの分野にて専門知識を習得した人が大半であり、この専門知識を国際ロータリー、ロータリー財団への支援の為に役立てて欲しいのです。また、帰国後2年から3年は地区内各クラブの例会に出席して卓話をしたり、ガイダンス、オリエンテーション、総会に積極的に参加をして、次に出発する奨学生に対して適切なアドバイスをすること。それが援助してくれたロータリーへの貢献になりますし、その事をスポンサークラブからも助言して頂きたいと思います。

この様に学友会活動に積極的に参加をして地区財団学友委員会と共に学友会組織の充実と活性化に努力をして貰えば更に良き循環となると考えます。

最後に課題として、財団学友委員会と学友会幹事の皆さんとの関係があります。年度によって学友委員会のメンバーは変わりますが、学友会幹事の皆さんはある時期まで永く役をされます。その中での意思伝達が巧くいけば、縦、横の繋がりとして学友会活動は活性化される事となります。

簡単な様で難しい事ですが、地道な活動が実を結ぶ事と思います。さりとて、これも2760地区のロータリアンの力なしで実現出来ません。財団学友委員会も「誠心誠意」活動致しますので更なる御支援を御願い申し上げます。

[▲上へ戻る](#)



ロータリー財団月間によせて
—ポリオ撲滅運動のRI第2760地区における対応—

地区ポリオプラス委員会

委員長 山内 登

RIは、2005年(RC設立100周年)に、世界がポリオの完全撲滅を宣言することを予定しております。同時テロ事件以降、激減している対応を復活させなければなりません。

そのため、当地区におきましても、2002～2003年度から今年度(2004～05年度)に至る3カ年でロータリーメンバー1人米貨150ドルのポリオに対する寄付を実行していただきたく、お願い申し上げて来ましたが、いよいよ撲滅募金活動キャンペーン3カ年計画の最後の年度となっております。

ポリオ撲滅が国際ロータリーの第一の目標であることを強く再認識して頂き、2005年度には声高らかに完全撲滅宣言をしようではありませんか。

[▲上へ戻る](#)



ロータリー財団月間によせて
—恒久基金について—

地区恒久基金委員会

委員長 渡辺 均

「恒久基金」とは財団管理委員会が世界理解と平和の為にロータリー財団基金(1982年発足)に代わるものとして、新たに採択した名称です。この基金の目的を世界中のロータリアンによく理解してもらう為に改称を行いました。財団の強固な将来を確実にする為にです。国際ロータリーは(2005年の)ロータリー創立100周年に向けて5億ドルを設定し「恒久基金」を特に支援する様にロータリアンに奨励しています。

この恒久基金への後援者をベネファクターと呼び当地区の目標は毎年各クラブ最低1名のベネファクターを出して頂く事です。未だ未だ少なく地区内で残念ながら7クラブがベネファクター「ゼロ」です(2004年6月末時点)。又大口寄付者(寄付の種類を問わず年次寄付・使途指定寄付・恒久基金寄付の合計で100ドル以上寄付した方)も当地区では未だ少なく今後の目標に対しまして高いご理解と絶大なるご支援を賜ります様、御願い申し上げます。

[▲上へ戻る](#)

ロータリー財団月間によせて
—毎年あなたも100ドルを—

地区年次寄付委員会



委員長 岡本 戡紘

2001年規定審議会で、2005年までに1人当たりの年次寄付を100ドルの水準まで上げる決議が採択されました。なぜでしょうか。

ポリオプラス、財団奨学生、GSE、地区補助金など、外部から認められるロータリークラブらしい活動の多くは、財団委員会のもので、その活動原資は皆さんからの寄付によって成り立っています。これらの諸活動が発展する一方、近年の会員数の減少は原資の確保を危うくしています。RCがすばらしい理念を掲げていても、財政基盤がなければ「絵に書いた餅」になってしまいます。

ある先輩が、「財団への寄付は、事業における固定資産税のようなものだ」とおっしゃいました。RCが継続的に事業を行わねばならないのならば、それを支える寄付も継続的に行わねばならない、という意味だと思います。

今年は各クラブで寄付目標を設定されました。是非目標を達成ください。ロータリークラブが奉仕の理想を実現するためには、皆さん一人一人の寄付が不可欠です。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

ガバナー公式訪問

西名古屋分区②



日時: 2004年8月25日(水)

名古屋南RC, 名古屋東南RC, 名古屋瑞穂RC, 名古屋名南RC

8月25日(水)名古屋観光ホテルにおいて、大島ガバナー、安藤地区幹事をお迎えして、名古屋南RC(ホストクラブ)・名古屋東南RC・名古屋瑞穂RC・名古屋名南RCの文字通り親・子・孫の関係にあたる4RC合同にて公式訪問を開催させて頂きました。

例会に先立ち、午前10時30分より正午までの1時間半を要して懇談会を開催し、各クラブ会長及び幹事が全員参加のもと、ガバナーよりクラブ運営について適切なアドバイスを頂くことが出来ました。

★名古屋東南RCより、

1. 会員減少に伴う予算編成上の苦勞
2. RC100周年を祝う記念事業として、名古屋名南RCと合同でシンポジウムを企画していること

★名古屋瑞穂RCより

1. 当該クラブ25周年記念事業を来年の5月19日に開催し、そのための多様な企画の一環として、豊富な国内外の姉妹提携クラブを万博会場に招待するなど事業の成功に向けて精力的に取り組んでいること
2. 16年間にわたる熱田神宮境内におけるホタル飼育事業が、着実に成果を上げつつあること

★名古屋名南RCより

1. 女性会員の充実や、先進的に取り組んできたIT化の浸透により、すべての情報をメール配信とすることにより全会員からの賛同が得られていること
2. ニコボックス収入の本会計算入措置や、さまざまなアイデアにより経費削減に務めていること

★名古屋南RCより

1. 例会運営や趣味の会などの活動を活性化させることにより、会員相互の親睦を深めて、会員数の減少を食い止める一方で、会員増強システムを強化していること
2. 各委員会の事業内容および固定費のさまざまな領域で思い切った合理化に踏み切って経費削減に努めていること

などが報告され、極めてfrankな雰囲気の中で、各項目ごとに大島ガバナーより適切なご指導やご助言を頂くとともに、各クラブの特長ある取り組みに対して高い評価を頂きました。

例会においては、大島ガバナーより

1. 関係の深い4RCが一堂に会して例会を催すことに、情報交換や交流の輪を広げるといったいろいろな意味で意義深いこと
 2. 万博例会を成功に導きたいこと
- など、地区方針の説明に付け加えて率直なご意見を披露されるなど、およそ20分程度という短い時間の中ででありながら、非常に有意義な卓話を頂くことができました。

大島ガバナー、安藤地区幹事には本当にお世話になりありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。

西尾張分区①



日時：2004年8月26日（木）
一宮RC、尾西RC、一宮北RC、一宮中央RC

大島宏彦がガバナー・安藤重良地区幹事をお迎えして、4ロータリークラブ合同の公式訪問例会を真清田神社参集殿にて開催しました。事前懇談会では、会員の減少にどう対処するかという問題につき率直な意見交換が行なわれました。会員減少のために各種委員会活動が負担になっている件については、耶律楚材の「一事を増すは一事を減らすに如かず」との言葉を引用され、貴重なご示唆を頂きました。

例会では、愛知万博のロータリー館建設と運営を成功させることに全力をあげて取り組むとの決意を表明され、改めて協力要請がありました。また職業奉仕をロータリー活動の原点として確認するとは「自分に家族の生活を預けてくれた社員、自社の製品を使ってくれる顧客のために働く」とことという明解なお話がありました。

今回の合同例会では、ガバナーの隠された意図の通り日頃は顔を合わせる機会も少ない各クラブのロータリアンが、交友の輪を持つ絶好の機会ともなりました。最後に真清田神社本殿前にて出席者全員がガバナー・地区幹事を囲み記念写真撮影を行いました。

東尾張分区②



日時：2004年8月27日（金）
春日井RC、名古屋空港RC、豊山ー城北RC

大島ガバナー、安藤地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問としては初めての春日井RC、名古屋空港RC、豊山ー城北RC三クラブ合同の例会を開催させていただきました。午前10時30分よりの三クラブ合同の会長幹事懇談会では、ガバナーよりクラブ運営等について適切なアドバイスをいただきました。

例会においては、RIテーマや地区方針であるロータリー館の建設と運営についてご説明があり、「愛・地球博」を地区の力で何とか成功させて、日本ロータリーのじり貧を巻き返す起爆剤の一つにしたい、と決意を述べられました。また職業奉仕については、突き詰めれば「週1時間の例会が終わったら真っ直ぐにオフィスに帰り、社員のため顧客のために仕事に励もう」ということになる。ロータリアンは多くの人の生活の責任を負っているのだから例会は貴重だが、職業があつてのロータリー、時間を掛け過ぎてはならない、等々解りやすくご解説いただき、たいへん有意義な時間を過ごさせていただきました。例会終了後には、ガバナー、地区幹事と共に記念撮影をし、ガバナー公式訪問を無事終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

東名古屋分区①



日時：2004年9月6日（月）
名古屋東RC、名古屋和合RC、名古屋名東RC、名古屋千種RC、
名古屋昭和RC、名古屋東山RC

大島宏彦ガバナーと安藤重良地区幹事を会場であるウェスティンナゴヤキャッスルにお迎えすることができた。今回は初の試みで、また大島ガバナーのご発案により、東名古屋分区に属するクラブのうち6クラブ、和合、名東、千種、昭和、東山および名古屋東が一堂に会することとなっ

た。

名古屋東をホストに総勢296名が席を埋め、日の丸を中心に6旗のバナーに囲まれた会場はなかなかの壮観であった。

例会に先立ち1時間半ほど、6クラブの会長・幹事がガバナーと地区幹事を囲みお話をする機会が設けられた。大島ガバナーには大変的確にまた率直にご自分のお考えご意見を丁寧にお話いただき感銘を受けた。

やらねばならない一つに集中すると、やった方がいいことをやる余裕がないとか、縁あって入社した社員に、一度はこの社に入ってよかったと思わせたいなど、職業奉仕をロータリー活動の原点として捉えた印象深いお言葉も頂いた。ロータリー100周年、愛・地球博あるいは優勝を目指す中日ドラゴンズと、まさに大島ガバナーの面目躍如たるものがあつた。

西三河分区分②



日時:2004年9月8日(水)
刈谷RC・碧南RC・高浜RC・知立RC

台風一過の9月8日、知立出雲殿にて公式訪問が開催されました。ガバナーの粋な計らいにより、親クラブである刈谷ロータリークラブと、子クラブの碧南・高浜・知立が集まり、4クラブ合同例会という形で和気あいあいの中で行われました。

合同例会に先立ち、4クラブ合同会長・幹事会を午前にて終えました。

例会では、ホストクラブの知立RC近藤一幸会長より、大島宏彦ガバナー、安藤重良地区幹事、鈴木信吾ガバナー補佐、鳥居光同幹事、米山奨学生の李賛任さん、ヴォ・ウィン・ティ・テュさん、青少年交換学生エンドウ・クラリッサさんが紹介されました。引き続き、親クラブの刈谷RC前田孝司会長より、歓迎の辞及び会長挨拶が行われ、4クラブの生い立ち、先人達のロータリーへの熱き思いを語られました。

卓話では大島ガバナーより、4クラブ合同開催に対するねぎらいの言葉、多くの地域でみられる「会員減少」への対処、「愛・地球博」への協力の御礼、また特に職業奉仕につき、事に当たってはその見極め、判断の分かれ道は「広く聞く」の心掛けと力説されました。そして今日この例会が交友の輪を深める機会になったらと念じ、締めくくられました。

東尾張分区分③

日時:2004年9月9日(木)
江南RC、犬山RC、小牧RC、岩倉RC

犬山ホテルにて、犬山、小牧、岩倉および江南各ロータリークラブの4クラブ合同例会に大島ガバナーが公式訪問されました。

大島ガバナーとは、ある音楽会でご一緒しその人柄に惹かれたことは記憶に新しいところですが、まずもって、大変なスケジュールをぬって公式訪問をいただいたことを感謝申し上げます。

大島ガバナーが「多くの家族の生活に責任を持つ自己の職業が最優先」という時間管理の原則に則り、アナハイムの研修での「わが意を得た思い」という職業奉仕の重要性を説かれました。「自身の職業が新聞発行、それも当地の皆様の圧倒的なご支持を賜っている中日新聞ですので一言お礼を申し上げることから始めなければなりません」と述べられたことは、大島ガバナーがこの公式訪問においてそのお人柄を表すとともに職業奉仕の重要性を率先されている証です。本年度40周年を迎えるわが江南ロータリークラブにおいても、職業奉仕も強調した運営をおこなう方針です。

万博においては、RIテーマである「ロータリーを祝おう」の地区行事も万博のみに絞り、「やらねばならない」のひとつに集中する方針を再確認させていただきました。わが江南ロータリークラブにおいても、ガバナー・地区の方針に則りご協力させていただく所存です。

大島ガバナー公式訪問を受けて4クラブが一同に会し交友の輪を持つことができたことは、職業奉仕の原点であり、その意味においても有意義な公式訪問であったと大島ガバナー、安藤地区幹事に感謝申し上げます。

西三河中分区分①

日 時 2004年9月15日(水)
岡崎RC、岡崎南RC、岡崎東RC、岡崎城南RC



大島ガバナー、安藤地区幹事をお迎えして岡崎4クラブ合同の例会が行われました。なお合同例会に先立ち10時30分から12時まで各クラブの会長・幹事との懇談会が行われました。ガバナーの示された4つの方針に従い、私たちは活動を進めております。

具体的には2005国際博ロータリー館の建設資金拠出に積極協力、並びにロータリー館での例会開催、岡崎4クラブ合同で「ロータリー100周年環境保全プロジェクト」として額田町「おおだの森」にて、来年2月記念植樹及び記念碑の建設を行うことなどをガバナーにご報告いたしました。

例会では大島ガバナーは、ロータリーにおける職業奉仕の意義について、会員直々に親しくお話をされました。参加者全員非常に感銘を受けロータリアンとしての自覚をさらに深めることができた、誠に有意義な合同例会でありました。

東三河分区③



日時：2004年9月17日（金）

蒲郡RC、豊川RC、新城RC、奥三河RC、豊川宝飯RC

大島宏彦ガバナー、安藤重良地区幹事をお迎えして5クラブ合同例会を蒲郡プリンスホテルにて開催いたしました。

例会に先立ち行われた懇談会では、5クラブの方針、活動状況の報告を行い、各クラブごとにご指導ご指示をいただきました。

合同例会は、5クラブ157名の出席の元、ガバナーの卓話をいただきました。冒頭、クラブが散在している東三河分区のことと、この種の合同例会は初めてのクラブ、遠距離からの集まっていただく会員も多く感謝のお言葉をいただきました。地区は来年「愛・地球博」に焦点を当てており、予算面ではあと少しで、何とか成功させ、ロータリー巻き返しの起爆剤にしたいとのことでした。日頃は顔をあわせない多くの仲間が集まり、交友を深める機会になった合同例会でした。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

2003-2004年度派遣学生帰国報告会



日 時 2004年8月21日(土)

場 所 桜花学園本部

去る8月21日(土)14時から2003-2004年度に海外に派遣した学生が無事1カ年の留学生活を終え帰国し、その報告会を大島ガバナー他地区役員出席の下、桜花学園本部にて行いました。

2003-2004年度は10カ国20名を送り出しましたが1名(1カ国)はSARSの関係で途中帰国させ、特例として2004-2005年度に再度派遣実施しております。

高校生という多感な時期を1カ年海外で生活し、日本の外国に対する親善大使として役割を全うするには多くの困難を乗り越える努力が必要ですが、それに余りある成長と感謝の念とを持ち帰ることができるこのプログラムは、ロータリーの精神が最も具現化できるものであると思います。

約100名の参加された方々は終了予定時間を40分も過ぎてしまったものの、ユーモアをまじえた体験談を聞くことにより、それぞれの成果を実感できたことと思います。

このプログラムは第2760地区の全ロータリアンから1人年2,100円の資金を頂いて活動しているものであり、その金銭面はいうに及ばず、ロータリアンとしてのサポートに対し派遣学生全員が感謝を述べていたことを報告させていただきます。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区

2004-05 Governor's Information



公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション



日 時 2004年8月28日(土)～29日(日)

場 所 美杉村桜花学園林間学舎

28日から29日にかけて地区青少年交換委員会主催で本年度第1回オリエンテーションを学生35名(来日学生8カ国15名、派遣候補生10名、帰国学生10名)ROTEX 5名、委員5名の総勢45名の参加により行いました。毎年行われるこの行事は派遣および受入学生にとって最も重要なものの一つで、外国留学のための申請書の書き方、来日学生のための学校、日本の社会での生活方法などの指導、また、派遣候補生と来日学生との交流を含め1泊研修するものであります。

当日は台風16号が迫っており心配しましたが、時々風雨が強くなったものの、当初の目的である研修および懇親を深めることができました。特に今年度より、帰国学生も所属するROTEX(過去の派遣学生の組織)が青少年交換活動をサポートしてくれるようになり、貴重な留学経験を活かしかつ年齢的にも近い彼らが行う指導は今までとは一味違うより有意義な指導ができた和我々委員会一同は考えています。

この1泊オリエンテーションでは、地区国際奉仕委員会の現副委員長であり、桜花学園理事長の大谷先生のご協力を頂き、スクールバスや、学園施設の提供等、長年に渡り多大なるご奉仕を頂いていることを最後にご報告いたします。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

地区ロータリー財団セミナー

日 時 2004年8月24日

場 所 名鉄グランドホテル

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 孝則



今年度の第2760地区の重要な事業の一つである「地区ロータリー財団セミナー」が開催された。このセミナーは、RIのロータリー財団の活動の状況を拡くロータリアンに公開することと併せて活動の内容の理解をより深く浸透させることを目的として、毎年開催されている。

今年度は、特に財団への関心を深めてもらうために、前ロータリー財団地域コーディネーターで第2800地区のバスターガバナーでもある藤川享胤氏をお迎えし、「ロータリーの心と財団」と題した特別講演をお願いした。

ロータリーへの限りない愛情と財団の重要性を独特な語り口で熱弁を振るう藤川氏に参加者は大いに魅了された。

当日の参加者は、大島ガバナーを筆頭に地区役員及び地区財団委員会そして地区内80クラブの会長、会長エレクト、財団委員長の総勢223名を数えた。

内 容

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. ガバナー挨拶 | 大島宏彦 ガバナー |
| 2. ロータリー財団の活動と使命 | 鈴木孝則 財団委員長 |
| 3. 財団セミナーと講師紹介 | 福田清成 財団カウンセラー(P.D.G) |
| 4. 特別講演 | 職字率向上タスクホース第一ゾーンコーディネーター |
| 演題『ロータリーの心と財団』 | 前ロータリー財団地域コーディネーター |
| | 第2800地区バスターガバナー 藤川享胤 様 |
| 5. 地区補助金について | 尾上 昇 地区補助金委員長 |
| 6. 年次寄付について | 岡本戡紘 年次寄付委員長 |
| 7. 財団における恒久基金寄付 | 渡辺 均 恒久基金委員長 |
| 8. 国際親善奨学生の派遣と受入 | 石田正城 財団奨学委員長 |
| 9. GSE活動の展開と目的 | 矢形修己 GSE委員長 |

- | | |
|---------------------|----------------|
| 10. ポリオ撲滅募金特別キャンペーン | 山内 登 ポリオプラス委員長 |
| 11. 財団学友の活動と活用 | 藤田守彦 財団学友委員長 |
| 12. 質疑応答 | |
| 13. 講評と閉会の辞 | 加納 泉 パストガバナー |

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区

2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

職業奉仕委員会 委員長会議を終えて

日 時 2004年8月24日

場 所 名鉄ニューグランドホテル

地区職業奉仕委員会 委員長 太田 達夫



10月の職業奉仕月間をいかがお過ごしになりましたでしょうか？

さて、地区職業奉仕委員会の主行事であります委員長会議を、開催いたしました。当日は地区内76RC92名、特別参加者7名、地区委員7名、総員106名の参加を得て、大変盛況に開催することができました。

大島ガバナー、盛田パストガバナーにご挨拶を頂いた後、講師にお招きいたしました土屋亮平1988～89 2790地区パストガバナーに講演いただきました。「全国的に経済の不安定な時、当地区は大変恵まれた環境にある」とのお話に続き、ビチャイ・ラタクルRIパスト会長のご講演内容を中心にロータリアンの職業奉仕の重要性、またそれがロータリアン自身の成功に結びつく一番の早道である。特にコンプライアンスの遵守、道徳的水準を高めることが必要であると説かれました。

講演の後、各分区に分かれて講演内容の検討と各分区内活動報告、またその内容の発表会と活発な意見交換がなされました。その中でロータリアン相互取引について質問がありましたが、当日特別ゲストとして、ご出席いただきました佐藤千寿2580地区1974～75年度パストガバナーの「買い手として、大いに活用すべし」とのお答えは大変印象に残りました。

ご講演・ご回答いただきました両先生に感謝申し上げるとともに、ご出席いただきました皆様のご活躍をご期待申し上げ、ご報告とさせていただきます。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

クラブ米山奨学委員長セミナー報告



日 時 2004年8月25日(水)

場 所 ウエステインナゴヤキャッスル

10月の米山月間を迎えるにあたり、「変り行くよねやま」「地区の声をよねやまに」の思いを込めた勉強会を開催いたしました。

大島ガバナー、小川ガバナー補佐、安藤地区幹事、渡邊地区副幹事、加納米山記念奨学会理事の皆様方のご臨席のもと、70クラブの米山奨学委員長様、米山関係委員9名。総数84名のご出席をいただきました。

「次年度(2005年度)から米山奨学生採用数の減少(20%)と米山奨学金の減額(15万円→14万円、12万円→10万円)を計り、寄付金の収入に見合った奨学制度にいたします。」と加納理事の米山奨学制度の現状の説明をたまわりました。続いて地区米山委員による各論の解説にはいりました。10万円単位の表彰制度採用にあたり、2～3のクラブにおかれ、集金事情にとまどいの面が生じた事例等に遭遇しました。このように地区内で米山奨学制度と真正面から向き合う機会が持てましたことは大変有意義でありました。出席者の皆様方に心から御礼を申し上げます。カウンセラー研修会も11月20日(土)に開催予定ですので更なるご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

地区米山奨学委員会 委員長 鈴木茂久

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

地区クラブ奉仕委員長会議



日 時 2004年9月3日

場 所 名鉄グランドホテル

大島宏彦ガバナー、安藤重良地区幹事、永岡滋地区副幹事のご臨席と地区内クラブ奉仕委員長のご出席をえて行われた。

第1部では、従来のクラブ奉仕委員会の進め方である“有効なクラブ運営・管理の方法各論”を出し合う手法をあらため①クラブ奉仕委員長の統括すべき委員会の確認②職業上の時間的デメリットを超える魅力あふれる例会の運営③ロータリアンらしい魅力あふれる会員の育成・相互研鑽・増強④100年祭を迎えてクラブの基礎再構築はクラブ奉仕の最大任務⑤愛・地球博のクラブでの共有⑥デジタル・デバイド(情報格差)の解消の努力⑦会員世代間の親和と相互理解(Aging Concern)等について論じられた。また上記のテーマについて地区内クラブからお寄せ頂いたアンケートの詳細についても論じた。RIでの強調事項である“ロータリー家族委員会”についてその地区内の現況と意義について紹介された。地区インターネット委員会のお話も興味深かった。

第2部では“地区増強委員会”“地区広報委員会”“ロータリーの友”各委員長から現状の問題点と活動を通して各クラブのクラブ奉仕委員長と当該委員会の職掌連携について興味ある講演をうかがった。クラブの浮沈は4大奉仕中唯一の内部に向けた奉仕である“クラブ奉仕”が握っているというのが地区クラブ奉仕委員会の見解でありテーマである。

地区クラブ奉仕委員会 委員長 江崎柳節

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

第1回クラブ新世代委員長会議



日 時 2004年9月7日(火)

場 所 名古屋マリオットアソシアホテル

当日は台風接近による悪天候だったが、大島ガバナーを始め、新世代、インターアクト、ローターアクト、ライラの各委員長ら130名余りの出席の下、瀧本地区新世代副委員長よりの配布資料はマスコミから大変好評を得ているとの挨拶で開催。

大島ガバナーは新世代活動は大変難しいがロータリーにとっては大切な活動であるから、皆様のご協力をお願いしたいと挨拶され、続いて藤井地区新世代委員長が各クラブに「各ロータリアンは青少年の模範」の標語を周知させていただきたい又、今世界中で子供の教育に悩んでいるが、ぜひ子供達に向い合って言葉をかけてやってほしいと挨拶し会議に入った。

講演では、武道家であり、客員教授である風間健氏が「大人の責任」のテーマの下に「子供は親の背中を見て育つ」の格言の如く生活、教育には大人の責任がある。教育は学校でと考えられているが、それは間違いで教育とは人の生きざまそのもので、これが教育であり、大人の責任であると話された。又、ロータリアンは各界の優れた人々の集まりであるから、ロータリーが立ち上がれば社会は動くとロータリーの積極的活動に期待していると話された。

この後、地区委員会の活動報告で新世代委員会(藤井)は、クラブの例会で子供達と食事のマナー等について話し合う事でも子供達は感動するケースなどを紹介、インターアクト委員会(谷川)は、インターアクトクラブ協議会、海外研修の内容をVDを使って紹介、ローターアクト(高木)からはローターアクトの組織、活動状況を見ると、アクトクラブは発展し、ロータリアンが感動するほどの奉仕活動を行っている。

ライラ委員会(岩瀬)では、ライラセミナー(11月27、28日豊川稲荷)で開催する内容と各クラブより2名以上の参加を依頼した。

講評では大島ガバナーが悪天候のため時間を短縮したが、配布資料を基に今後の活動に期待していると結ばれ会議を終了、懇親会ではアクトの代表を含めた意義ある懇親であった。

地区新世代委員会 委員長 藤井 忠

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

第1回社会奉仕クラブ委員長会議



日 時 2004年9月10日(金)

場 所 ホテルキャッスルプラザ

議事(1)は新年度社会奉仕活動計画についてですが、これは各クラブの年度当初の活動計画を委員会で分類、集約したものを題材といたしました。一クラブ何項目でも具体的な立案は延計上とし、又、具体化は今後というクラブは一割強ありましたがとりあえず未計上としました。一応の分類結果は次のとおり。

1. 福祉部門(14項目) 延95クラブ
2. 環境部門(9項目) 延29クラブ
3. 文化教育部門(11項目) 延27クラブ
4. 安全部門(4項目) 延9クラブ
5. 健康・スポーツ部門(5項目) 延12クラブ
6. その他部門(9項目) 延32クラブ
- 計6部門(52項目) 延204クラブ
- 計上62クラブ、平均3.3項目／クラブ

全体として在来と比べ活動計画が多様化・多面化してきている傾向がみえました。

議題(2) 環境保全委員会活動について國分孝雄委員長よりの報告

議題(3) RCC委員会活動について宮田正人委員長よりの報告

議題(4) 社会奉仕活動計画の事例発表として、半田RC山内和之委員長、新城RC長坂好幸委員長、渥美RC小久保章委員長、田原パシフィックRC山崎剛委員長、安城RC石原昭委員長の5氏から発表が

あり大変好評でした。

結びに大島ガバナーより励ましの好評をいただき閉会いたしました。

地区社会奉仕委員会 委員長 石田 弘幸

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業」』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

第1回地区国際奉仕委員長会議



日 時 2004年9月14日(火)

場 所 ホテルアソシア豊橋

大島ガバナー 安藤地区幹事 石田地区副幹事ご出席のもと、本年度 第1回地区国際奉仕委員会が開催されました。吉野国際奉仕委員長・水谷世界社会奉仕委員長・黒田青少年交換副委員長から今年度の方針と経過報告がありました。特別出席者の国際連合地域開発センターの小野川所長からは、パワーポイントを用いて、分かり易くセンターの活動及びロータリーとの連携の説明があり、さらに二人のドイツとアメリカからの帰国留学生の体験報告を聞き、地区国際奉仕の実践が実を結んでいることを実感し、さらなるロータリーの国際奉仕活動への参加の励みとなりました。ロータリーは単年度性ではありますが、一方でこうした地区の地道な継続的活動を維持できる体制を各クラブで力を合わせて築いて行きたいものと痛感しました。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業」』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

話の泉 ⑤ 『師勝町「思い出ふれあい(回想法)事業」』

尾張中央RC 大野 厚 (ホワイトウィング大野 代表者)



この夏は殊のほか暑く、仕事のストレスと重なって、心身共に疲れている方が多いのではないのでしょうか。そんな中、幼なじみや同窓生との食事会があったら… と想像してみてください。良い事も悪い事も、当時の様々な思い出話をするうちに、皆すっかり当時まで若返ってしまって、笑いが溢れることでしょう。懐かしさと楽しさで心が癒され、気持ちが少し元気になり、明日への活力に繋がると思いませんか。これこそが「回想法」です。回想法とは、かつて自分が体験したことを懐かしく思い出し、語り合ったり思い巡らすことで、脳を活性化させ心を元気にする心理療法なのです。

師勝町では、この「回想法」を介護予防・痴呆予防に取り入れ、平成14年度から「思い出ふれあい(回想法)事業」と称して実施しています。高齢化の進行による様々な課題のなかでも、痴呆の問題は非常に深刻です。そんな痴呆の予防対策の一つとして、厚生労働省始め全国の自治体や介護保険施設から注目されているのが、この事業です。

回想法事業の拠点施設として「師勝町回想法センター」も設置されています。欧米を中心に発展してきた回想法は、イギリスでは一般的なものとして浸透しており、回想法センター(レミニッセンスセンター)もたくさんありますが、日本では師勝町が第1号です。回想法に関しての情報発信や研修の場として、また子どもから高齢者まで利用でき、世代間交流のサロンやコミュニティセンターとしての役割も担っています。昔風の学校の教室をイメージした部屋と、懐かしい生活用具や農具などが置かれている教材室があり、教材は自由に利用できます。同じ敷地内にある「国登録有形文化財旧加藤家住宅」とともに、来館者の懐旧の場、心が癒される場となっています。

事業の中心となっているのは、高齢者を対象とした「回想法スクール」です。毎週1回、1時間のセッションを8回コースで行い、「子どもの頃の遊びの思い出」「小学校の思い出」など、テーマに沿ってグループで回想を楽しむ教室です。この教室に参加する方は、生まれも育ちも異なる方達ですが、すぐに仲間になり、まるで幼なじみのように話に花が咲きます。事業評価の結果、介護予防効果も立証できました。スクールの修了者は、「いきいき隊」というOB会を結成して、それぞれ自主活動을続けており、活動を通じて社会参加や社会貢献の機会を得、文字通りいきいきと活動しています。

この事業に関連する施設として「師勝町歴史民俗資料館」があり、別名「昭和日常博物館」と呼ばれています。昭和時代の生活史の保存に努めており、10年以上前から昭和時代をテーマに、一貫したコンセプトで企画展などを実施し、日本全国からの来館者が昭和を懐かしみ、楽しんでいます。収蔵品は10万点以上に上り、その収蔵品が回想法スクールや回想法センターの教材室で活用されています。また、収蔵品を箱に詰めた「回想法キット」を、回想法を実践する施設などに貸出し、大変好評を得ています。

過去を振り返ることは、マイナスのイメージで捉えられることが多いのですが、回想法においては、「過去」は心を元気にし、ポジティブにする方法としてとても効果的のようです。機会がありましたら、回想法センターや歴史民俗資料館に来館していただき、回想を楽しんでみてはいかがでしょうか。「未来」への活力が湧いてくるかもしれません。

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告\(9月分 EXCEL形式\)](#)

話の泉 ⑥ 「カラス事始め」 前編

名古屋東RC 田中 徹弥 (有限会社 セントラルパックス 取締役社長)

名古屋東ロータリークラブ卓話でカラスのあれこれを話し始めたのは、十一年前平成六年九月五日でした。

昭和四十八年頃、小生の父は藤岡カントリークラブでプレーする毎に、ゴルフ場に棲んでいる野生のリスに餌場を決めて、ヒマワリの実、クルミなどを持参し与えてリスが可愛い仕草で食べるのを見て目を細めていました。昭和五十一年父の没後、小生が替わって餌を与えるようになりました。

「折角餌をあげても、カラスが盗んでいますよ。」キャディさんに告げられたその日からカラスとの付き合いが始まりました。かれこれ三十年弱にもなるわけです。「なにつ……カラスが……？」と絶句し、頭の中はカラス一色になったと言っても、カラスは真っ黒ですから色は無かった筈です。何色だか覚えてはおりません。

それからというものは、何とかカラスを退治する方法は無いものかと、寝てはカラスの夢、起きてはうつつかラス、カラスの事ばかり、東京都知事石原慎太郎氏が三年前より始めた「東京都カラス対策室」(1)等という大がかりな組織は日本中は勿論世界中でも無かった筈です。ですから細々とした手探りでした。

追い払う工夫に録音機にカラスの警戒心を誘うカラス語をレコードして、あの広いゴルフ場に小型手持ち拡声器でカラスの群れにボリュームを一杯にし音を流しても「アホー」と鳴かれるだけ、三井物産発売の磁石付きカラス撃退器とか、無数のカラス撃退グッズも試しました。



1 東京都カラス対策プロジェクトホームページ。
クリックすると別ウインドウで表示。

その頃関東のあるゴルフ場では、カラスの悪戯に耐えかねて、カラスを吊し首にして竹竿にぶら下げ、これ見よがしにカラスを脅しているのを見ましたが、気持ちの悪いものではありませんでした。

数年は瞬く間に過ぎ、やっと捕まえてやろうと考えつき、鉄棒製の大型犬用檻を利用し、雀捕りの要領で入り口より中にカラスが入ればボタンと閉まるなどと予想して一人悦に入ったものでした。デパートで三台ほど買い入れ改造し、餌を入れてゴルフ場において分けて設置しました。

二、三ヶ月待った頃NHKラジオが「これぞ究極のカラス捕り」と称する静岡県湖西市のゴミ処理場での捕獲の有様を放送しました。その時は躍り上がり「これだっ」と手を打ちました。何せ設置した檻には入居カラスは0羽ですし、費用は優に二十万円を超える損害でしたから。

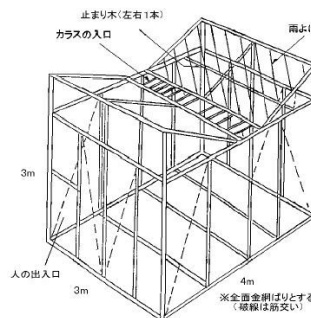
早速に湖西市の処理場現場に確認すると、「罠はいるか」との思いもよらぬ話に困惑すると、罠を分けるし現場の仕掛けを見せてくれると言う話になり、藤岡カントリークラブよりライトバンとドライバーA君の提供を受け、喜び勇んで湖西市に出向きました。

さて現場に着くと係員は罠の準備をしてくれるのですが、罠は一羽より二羽以上持って行くが良いと言ってくれるのですが、持参した段ボール箱は二個しか無いので貴重な二羽を分けて貰いました。この処理場でも最初の罠は富士市の処理場で分けて貰ったそうです。

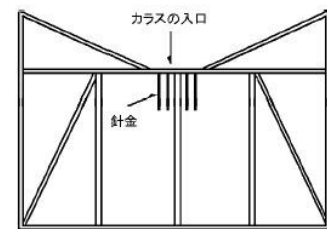
湖西市の捕獲器は現在東京都が使用してるものと全く同一(2)(3)(4)で、おそらくこの形が最適なものとなったのでしょう。添付図の如く四メートル×三メートル高さ二メートル、四方を金網で覆い、上部にカラスが入れる空間が空けてある木製の手作り、じっくりと見学しました。因みに先日東京都のカラス対策室に製作費用を尋ねたところ、間伐材を使用し設置費用を含め一基約四十万円との事でした。現在地方の自治体でもカラス退治にこの究極のカラス捕獲器を設置したいと希望はあるのですが、この費用を聞いてため息をついているそうです。



2 東京都カラス捕獲わな

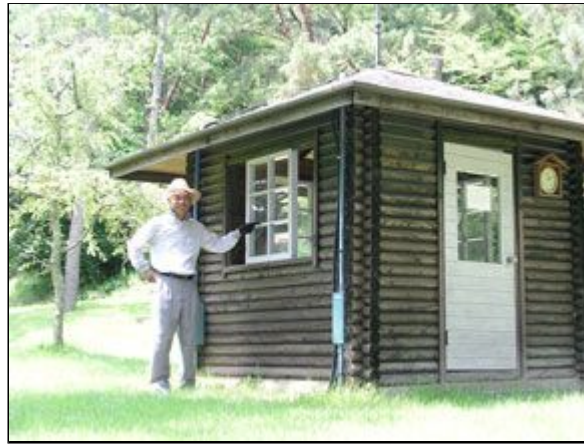


3 捕獲わな(クリックで拡大)



4 捕獲わな断面(クリックで拡大)

さて翻って我が藤岡カントリー内の捕獲器はいかにと言うと、図の写真に見る如くコース内十三番スタート横にある休憩小屋(5)が舞台となりました。三メートル四方窓付きです。この小屋を選んだのは、小生の勘によります。添付写真の人物の左手を添えている窓枠が肝心なところ(5)この小屋は当時コース作業員が休憩時用に菓子などを置いていたそうで、目ざといカラスがそれに気づき中へ入ろうとして毎日こつこつと嘴で窓枠を突っついて、窓枠がすり減っているとキャディさんが言うのです。ならば入る気があるならば、窓をあけてやれば良いわけで、中に檻に入れた罠のカラスがいれば上々、入ったら逃げられぬように針金トラップを天井から下げておくというのが作戦でした。この構図は湖西市の捕獲器や現在の東京都の捕獲器と原理的には一緒の筈と小生は今でも考えを変えていません。



5 藤岡カントリークラブ小屋

—湖西市よりの帰り道—

さて囃を分けて貰った二人は意気揚々とおカラス様をお供に熱い日盛りの中を浜名湖を見ながら昼食などに休憩し、一路高速道路に入りました。高速道路に入って間もなく、荷台のカラスが静かになっているのに気づき、逃げたのではないかと慌ててパーキングに停車し、そっと段ボールの中を見ると二羽共白目をむいているのです。熱中症です。浜名湖で一服し冷房を止めたのがいけなかったのでしょう。これは大変と松の木の涼しい根方にそっとおいて見ましたが、動きません。驚きました。彼等の回復を信じ、祈り、二人は高速道路を一目散に名古屋に逃げ帰りました。あの二羽はきっと回復してくれたと今でも祈る気持ちでおります。

A君は熱心にカラスを研究し、カラスの文献などを読んでいました。カラスの怖さもよく知っていました。彼はその日から熱を出し一週間程勤めを休んだそうです。

(以下続く)

囃の居ない小屋はそれから…

[▲上へ戻る](#)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区

2004-05 Governor's Information



公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

年間予定表

確認したい月をクリックしていただくと、その月の予定が表示されます。

[2004/7月](#)・[8月](#)・[9月](#)・[10月](#)・[11月](#)・[12月](#)・[2005/1月](#)・[2月](#)・[3月](#)・[4月](#)・[5月](#)・[6月](#)

2004年 11月

4日(木)	一宮RC 創立55周年記念例会	
7日(日)	ローターアクト アクターズミーティング	
13日(土)	第3回地区諮問委員会	
13日(土) ～14日(日)	地区大会	
20日(土)	インターアクトクラブ次期役員・委員長研修会	カウンセラー研修会
25日(火)	アジア第1-4ゾーン 「地域ロータリー財団セミナー」	
27日(土)	第2回クラブ新世代委員長会議	
27日(土) ～28日(日)	2004-2005年度地区ライラセミナー	

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

ガバナー月信 Vol.5 11月 メニュー

[ガバナーメッセージ](#) | [ロータリー財団月間によせて](#) | [ガバナー公式訪問](#)

[2003～2004年度派遣学生帰国報告会](#) | [青少年交換受入・派遣予定学生一泊オリエンテーション](#)

[地区ロータリー財団セミナー](#) | [職業奉仕委員長会議](#) | [クラブ米山奨学委員長会議](#)

[クラブ奉仕委員会委員長会議](#) | [第1回クラブ新世代委員長会議](#) | [第1回社会奉仕クラブ委員長会議](#)

[第1回国際奉仕委員長会議](#) | [話の泉⑤『師勝町「思い出ふれあい\(回想法\)事業」』](#) | [話の泉⑥「カラス事始め」前編](#)

[今月のカレンダー](#) | [文庫通信](#) | [ハイライトよねやま 56号](#) | [出席報告 \(9月分 EXCEL形式\)](#)

文庫通信 (205号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリーの奉仕」について

◎「知行合一」 佐藤千壽 平城京R.C 2003 40p [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「『クラブ奉仕の願望』」 深川純一 2004 6p (D.2680ガバナー月信)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「『ロータリー運動の主役はクラブ』」 田中毅 2004 5p (D.2680ガバナー月信)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリーの心を尋ねて」 松田尊文 大牟田R.C 2004 49p
[申込先:大牟田R.C FAX(0944)57-7220]

◎「21世紀のロータリー」 千玄室 2004 4p (D.2650地区大会基調講演)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「おもしろおかしくロータリー」 堀場雅夫 2004 10p (D.2650地区大会講話)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリー物語」 鳴海淳郎 別府中央R.C 2004 39p [申込先:ロータリー文庫]

◎「私のロータリー観」 田中克憲 2004 116p [申込先:田中克憲 FAX(095)822-4699]

◎「ロータリーは知・好(行)・楽 —ロータリー情報の葉—」 八尾R.C 2002 81p
[申込先:八尾R.C FAX(0729)24-0010]

◎「『ロータリーを考える』」 菅生浩三 1993 27p (「ロータリー随想」より)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館 7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

[▲上へ戻る](#)

ハイライトよねやま 56

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年10月13日発行

ニュース News

1. [寄付金速報 ～10月は米山月間です](#)
2. [今月のロータリーの友“よねやまだより”は……](#)
[米山月間・特別座談会:『ロータリアンになった米山学友が語る 米山奨学事業のこれから』\(友10月号P.17～\)](#)
3. [第3回フォーラムに向けて皆さまの声をお寄せください](#)
4. [国際ロータリー理事・南園義一氏より、米山奨学事業に寄せる言葉](#)
5. [私は元米山奨学生の教え子 ～ 米山奨学生の卓話レポート ～](#)
6. [続々と反響!『米山奨学事業豆辞典』アンケート](#)

PDF版は[こちら](#) (クラブでの配布などにご自由にお使いください。)

1. 寄付金速報 ～10月は米山月間です

9月までの寄付金は、前年同期と比べ0.03%減少でした。普通寄付金が0.9%減、特別寄付金が1.3%増です。9月の特別寄付金が前年同期と比べて増加しましたが、これは、今年度から**クラブ米山(CY)奨学金**の半期毎の分納が可能となったことで、この奨学金に関連する世話クラブからの寄付金が、一部この時期に入るようになったことが要因と考えられます。

10月は米山月間です。クラブ・地区で米山奨学事業に関わる皆さまには、引き続き卓話など広報活動にご協力賜りますようお願いいたします。

クラブ米山(CY)奨学金とは:

博士課程最終学年に在籍し、1年以内に学位取得の見込みのある奨学生に対して、世話クラブからの申込みによって奨学期間を延長できる制度(最長1年)。延長期間(6ヶ月または12ヶ月)の奨学金の半額を世話クラブが寄付金として負担することが条件となる。

2. 今月のロータリーの友“よねやまだより”は……

米山月間・特別座談会:『ロータリアンになった米山学友が語る 米山奨学事業のこれから』
(友10月号P.17～)

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、恒例の特

別座談会を掲載しています。今年は、現在ロータリアンとなっている4人の米山学友に、自らの経験を踏まえて米山奨学事業について思うところを語ってもらいました。支援する側・される側、双方の気持ちをよく知る彼らならではの視点が魅力です。そのほか、ロータリー米山記念奨学会の寄付金や財政、奨学生数などの諸データを2ページにわたって掲載しています。ぜひご一読ください。



3. 第3回フォーラムに向けて皆さまの声をお寄せください

2004年12月11日(土)、新高輪プリンスホテルにて第3回米山奨学事業フォーラムが開催されます。このフォーラムは、ガバナー・エレクトとその推薦者2名の計3名を地区代表とし、2006年度の制度改編に向けた議論のために集う場となります。以下は具体的な論点です。

(1) 米山の“使命”とは？またその選考基準は？

(2) 事業の目的と奨学金額

(3) 指定校・大学推薦制度の拡充

(4) 世話クラブ・カウンセラー制度の拡充

(5) 新しいプログラムへの取り組み 【参考資料:『米山奨学事業豆辞典』(p.11～)】

フォーラムに出席いただく3名は、地区の意見を代表して参加されます。皆さまの声をぜひ地区にお届けください。なお、フォーラムで協議された内容については、来年の『ロータリーの友』よねやまだよりにて報告する予定です。

4. 国際ロータリー理事・南園義一氏より、米山奨学事業に寄せる言葉

8月30日の理事会・評議員会では、台風16号の影響でやむなく欠席となった方々もいました。来賓の国際ロータリー理事・南園義一氏も、予定の飛行機が欠航のため欠席されましたが、代わりにメッセージを寄せてくださいました。当日の会議で高野副理事長によって代読されたこのメッセージには、米山奨学事業のこれからの課題の核心を突く内容が込められており、出席した理事・評議員の皆さんも静かに耳を傾け、受け止めておられるようでした。

米山奨学事業について思いをめぐらせていただく米山月間において、南園RI理事からの今回のメッセージは、きっとご参考になることと思います。全文を当会ホームページに掲載していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。

南園RI理事の言葉（一部抜粋）

今、ロータリーの奉仕活動も変わりつつあります。人道的奉仕と教育的奉仕活動の割合が変化し、人道的プログラムが増え、従来多かった教育的奨学生プログラムが減少傾向にあります。限られた寄付金のなかでの奉仕活動の比率はとても重要です。地区やクラブが個性的な活動目標と理念をしっかりとって行動すべき時代になったということでしょう。そして、今や、時代の変遷や社会構造、また社会意識の変化などによって米山奨学事業もまさに変革期にあるといわれています。この変革期を乗り切るためには、私たちは、米山記念奨学会の事業目的は何かという根本問題を再認識する必要があるように思います。

→全文は[こちら](#)

5. 私は元米山奨学生の教え子 ～ 米山奨学生の卓話レポート ～

「私は“一期一会”という言葉がとても好きです」と語る米山奨学生、楊 シュウビさん【台湾／広島大学大学院／D-2710広島東南RC】。台湾の大学の日本語学科で、心から尊敬できる恩師に出会い、努力の果てにつかんだ日本留学。彼女が師と仰ぐその人は元米山奨学生で、「日本語を教えるだけではなく、常に感謝の気持ちを持つことや、世の中の役に立つ人間になることを教えてくださいました」。現在、広島大学で博士号取得を目指す楊さんですが、ここに至る道のりは試練の連続でした。甘い認識で選んだ文学研究への迷い、先行研究の論文が理解できない、アルバイト先で怒鳴られる……壁にぶつかるたびに悩み立ち止まりますが、「何も得ないままで台湾に帰ることはできない」「このくらいでやめたらこの先何もできない」と、再び歩き出す等身大の若

者の姿に、「クラブ会員一同寂として声無く聴き入りました」(同クラブ会員・2710地区 仁田理事)。

→全文は[こちら](#)

6. 続々と反響！『米山奨学事業豆辞典』アンケート

先月の[55号](#)でお知らせした『米山奨学事業豆辞典』の巻末にはアンケートが付いています。米山月間資料として、各クラブで会員各位に配布されてから、次々に回答が寄せられています。日頃、米山奨学事業について感じていることを、ぜひこのアンケートにご記入いただき、FAXでロータリー米山記念奨学会事務局までお送りください。皆さまのご協力をお願いいたします。

[TOP](#)

以 上



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

	クラブ名	会員数 2004年 7月1日	2004年 7月1日 女性	会員数 2004年 9月末日	当月 女性	入会		退会		例会数	9月 出席率
						9月	累計	9月	累計		
南尾張分区	半田	66	4	66	4	0	0	0	0	4	
	常滑	54	0	55	0	0	1	0	0	4	
	東海	52	2	53	2	0	1	0	0	5	
	東知多	22	1	22	1	0	0	0	0	4	
	半田南	50	1	50	1	0	1	0	1	4	
	知多	26	0	28	0	0	2	0	0	3	
	大府	26	0	28	0	1	2	0	0	4	
	7RC	296	8	302	8	1	7	0	1		
西尾張分区	一宮	80	0	81	0	1	5	2	4	4	
	津島	74	1	77	2	2	3	0	0	3	
	尾西	36	0	37	0	0	1	0	0	3	
	一宮北	61	0	61	0	0	0	0	0	3	
	稲沢	60	0	59	0	0	0	0	1	5	
	あま	93	0	94	0	1	1	0	0	3	
	西春日井	43	1	43	1	0	0	0	0	4	
	尾張中央	51	0	56	0	0	6	1	1	5	
	一宮中央	59	6	60	6	0	1	0	0	4	
	9RC	557	8	568	9	4	17	3	6		
東尾張分区	瀬戸	80	3	81	3	0	2	0	1	4	
	犬山	84	0	83	0	0	1	2	2	4	
	江南	60	1	59	1	0	0	0	1	4	
	小牧	71	2	69	2	0	0	1	2	5	
	春日井	62	4	64	4	0	2	0	0	4	
	尾張旭	29	0	28	0	0	0	0	1	4	
	名古屋空港	53	0	55	0	0	2	0	0	3	
	瀬戸北	68	3	75	4	4	7	0	0	4	
	岩倉	17	0	20	0	0	3	0	0	4	
	豊山・城北	28	1	28	1	0	0	0	0	4	
	愛知長久手	23	2	23	2	0	0	0	0	4	
	11RC	575	16	585	17	4	17	3	7		
西名古屋分区	名古屋	189	0	195	0	3	7	1	1	4	
	名古屋西	99	0	107	0	2	8	0	0	4	
	名古屋南	113	0	116	0	2	3	0	0	5	
	名古屋みなと	84	0	85	0	0	2	0	1	4	
	名古屋東南	72	6	77	6	2	5	0	0	5	
	名古屋中	135	0	141	0	1	6	0	0	3	
	名古屋瑞穂	75	0	76	0	1	1	0	0	4	
	名古屋大須	65	2	67	2	0	2	0	0	4	
	名古屋栄	81	0	82	0	0	2	0	1	3	
	名古屋名南	83	13	83	13	0	0	0	0	4	
	名古屋名駅	90	2	103	2	3	13	0	0	5	
	名古屋西南	54	8	54	8	0	0	0	0	4	
	12RC	1,140	31	1,186	31	14	49	1	3		

クラブ	平均
平均出席率	80

地区内クラブ数 80RC	2004年 7月1日会員数	5,313	名	内女性	126
	当月会員数	5,424	名	内女性	130
	当月平均出席率				

増加会員数(累計)	144	名
減少会員数(累計)	33	名
差引純増会員数(累計)	111	名

	クラブ名	会員数 2004年7 月1日	2004年 7月1日 女性	会員数 2004年 9月末日	当月 女性	入会		退会		例会数	9月 出席率
						9月	累計	9月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	97	0	97	0	0	2	1	2	4	
	名古屋東	90	0	94	0	0	4	0	0	3	
	名古屋守山	65	5	66	5	2	2	0	1	5	
	名古屋和合	103	0	104	0	0	1	0	0	5	
	名古屋名東	57	5	57	6	1	1	0	1	4	
	名古屋名北	50	8	50	8	0	1	0	1	5	
	名古屋千種	65	6	67	6	0	2	0	0	4	
	名古屋昭和	60	0	63	0	0	3	0	0	3	
	名古屋錦	36	8	38	8	0	2	0	0	4	
	名古屋東山	62	2	63	2	1	1	0	0	4	
	10RC	685	34	699	35	4	19	1	5		
東三河分区	豊橋	118	4	122	4	2	4	0	0	4	
	蒲郡	66	0	65	0	0	0	0	1	4	
	豊橋北	93	2	97	2	2	4	0	0	4	
	豊川	68	0	68	0	0	0	0	0	5	
	田原	61	1	63	1	1	2	0	0	4	
	豊橋南	62	0	62	0	0	0	0	0	3	
	新城	60	0	60	0	0	0	0	0	4	
	渥美	38	0	42	0	0	4	0	0	5	
	奥三河	22	3	21	3	0	0	0	1	5	
	豊川宝飯	53	0	53	0	0	0	0	0	4	
	豊橋ゴールドン	71	0	72	0	0	1	0	0	4	
	田原パシフィッ	68	0	68	0	0	0	0	0	4	
	豊橋東	47	0	48	0	1	1	0	0	5	
	13RC	827	10	841	10	6	16	0	2		
西三河中分区	岡崎	99	1	103	1	1	4	0	0	5	
	豊田	73	0	75	0	0	2	0	0	4	
	岡崎南	98	2	101	2	1	3	0	0	4	
	豊田西	100	0	103	0	0	4	1	1	3	
	岡崎東	73	0	73	0	0	0	0	0	4	
	豊田東	81	0	82	0	0	1	0	0	4	
	岡崎城南	75	0	75	0	0	0	0	0	3	
	豊田三好	24	3	27	4	1	3	0	0	3	
	豊田中	49	5	48	5	0	0	1	1	5	
	9RC	672	11	687	12	3	17	2	2		
西三河分区	刈谷	86	0	84	0	0	0	1	2	3	
	安城	70	1	71	1	1	1	0	0	4	
	西尾	77	1	75	1	0	0	0	2	4	
	碧南	75	0	75	0	0	0	0	0	5	
	一色	35	0	34	0	0	0	0	1	4	
	高浜	42	2	42	2	0	0	0	0	4	
	知立	62	0	60	0	0	0	1	2	5	
	西尾KIRARA	61	0	62	0	0	1	0	0	4	
	三河安城	53	4	53	4	0	0	0	0	5	
	9RC	561	8	556	8	1	2	2	7		

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区



2004-05 Governor's Information

公式訪問日程	地区方針	年間予定表	褒 賞	リンク集	ロータリーソング
役割分担表	G補佐事務所	地区役員	地区委員会	地区内クラブ	トップページ

地区補助金について

補助金委員会 委員長 尾上 昇

9月30日に行われました2004－2005年度第2回地区補助金審議会におきまして5クラブからの申請が認められ、今年度予定いたしました補助金額はすべて使用いたしました。皆様に感謝申し上げるとともにまた来年度のこの補助金の有効な活用をお願い申し上げます。